



良識のある大臣へ

令和 2 年 11 月 20 日

私は英国の舞台芸術や芸能界で働くプロフェッショナルな芸能従事者による労働組合のエクイティを代表する書記長として申し上げます。

私どもが尊敬する日本俳優連合、日本音楽が連盟、民放労連(放送スタッフユニオン)の仲間の報告から、日本のパフォーマーやその他のフリーランスの労働者が直面している状況に気づきました。日本のフリーランス芸能従事者は、世界中で権利を持つ芸術家と同様に、世界でも重要な日本文化と芸能の双方を携えている素晴らしい存在です。

私はこの恐ろしいパンデミックに直面する日本の方々の困難が非常によく理解できます。なぜなら私の兄弟は慶應義塾大学の学者で、この恐ろしい病気の拡大防止措置のために、日本政府と人々が行った努力の下の経験をしたからです。私の願いは、日本の皆様と同じです。

日本政府が講じている措置は、公衆衛生を保護するために確実に必要な事ですが、これらが日本の豊かな舞台芸術を犠牲にして行われるべきではないことに同意していただきたいと思います。芸術はクリエイターの延長線上にありますが、日本政府が芸術分野に課した制限によって引き起こされる社会的経済的損害は、壊滅的になる可能性があります。

日本の正規雇用者は収入を維持しているのに反し、未払賃金確保制度や傷病手当金など、財政支援を利用できない多くの独立請負業者への甚大な影響を懸念しています。

芸能界及び文化芸術に携わるフリーランスの芸能従事者は、貧困線のしきい値を下回って生活しています。彼らの大多数は今年 2 月以来収入が 50% 以上減少しており、驚くべき生活をしています。日本の芸能従事者が円滑に利用できる補助金や緊急助成金がないため、生存が脅かされ、また不安定な収入に依存している家族の生存も危機に瀕しています。まだ仕事を再開するのに十分安全な状況にはないにも関わらず、ウイルスの感染から身を守る余裕がありません。

前例のない時代には前例のない措置が必要であり、芸術家に全世界と同様の社会保障の保護を適用し、日本の芸術と文化を、あなたの偉大な国家と全世界の未来を救うために、舞台芸術と芸能産業に比しく投資することを、敬意を表してお願いいたします。

敬具

ポール W フレミング
Equity 書記長 (イギリス)